

昨年度の総会報告

平成九年度の総会は、八月十日(日)午後五時より、台風の影響による悪天候のなか、一宮平安殿を会場として開催されました。会は、傍島章介同窓会副会長による開会宣言に始まり、山内進会長のあいさつに続き、母校校長の安藤浩昭先生、および来賓を代表しての加藤十八先生からそれぞれあいさつをいただきました。その後、議事に移り、事務局より平成八年度の事業報告と会計報告がなされ、ともに承認されました。役員選出では、小川健一副会長の退任と、前教頭の岩田隆先生から新教頭の中西幸子先生への書記の交替が承認されました。最後に、平成九年度の事業計画と予算案が審議され、これも承認を受けました。

今回の総会には、ご多忙にもかかわらず旧職員一四名、現職員一四名の先生方に出席していただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。また一般会員については、全日制第一・十・十二回卒業生が総会の中で学年同窓会を企画したこともあって、出席者は全部で一四三名を数えました。

総会後半の懇親会は、会場を別室に移し、川出孝行同窓会監査の開会の言葉とともに始まりました。柘植敬一郎先生のご乾杯のご発声により会食に移りましたが、例年以上の出席者に、会場は最初から熱気に包まれていました。各テーブルでは恩師や旧友たちとの思い出話が盛り上がり、また学校紹

介ビデオを見て、母校の姿をなつかしむうちに、あつという間に夢のような一時間半が過ぎてしまいました。最後は、音楽部出身者の先輩で校歌を高らかに歌い、林幸男先生のご発声による万歳三唱で締めくくって、平成九年度の総会は盛会のうちに幕を閉じました。



学年同窓会参加のお礼

12 回生 幹事 一同

同窓会総会の場をお借りして、卒業二十周年に当たる学年の同窓会を開催するという企画も、昨年度で三年めになりました。十二回生が該当学生でしたが、一昨年度都合により開催できなかった十回生も加わった合同企画となり、各学年五〇名以上の参加を得る盛大な会となりました。

特に十二回生においては、幹事の私共の手の悪さや、数年前に文系・理系別の学年同窓会があったばかりにもかかわらず、多くの方々に参加・協力していただいたことは、本当に感謝なことだと思います。この場をお借りしてお礼申し上げます。

二十年振りの懐かしい恩師の方々

や級友との歓談を通して、西高同窓生としての結束の再確認と明日への新鮮な活力が得られました。また、余興の音楽部OBによる合唱は、総会の数時間前に西高に集まり即席再結成されたものでしたが、二十年というブランクを感じさせない息の合った若々しいハーモニーでした。合唱コンクールの県大会優勝を目ざして練習に明け暮れ、その中で培われた高校時代の絆と初々しさは、一生の宝として持ち続けたいものです。

21年ぶりの再会を祝して乾杯!

10 回生 野倉 正人

一九七六年三月に、母校西高を卒業して二十一年。思い起こせば僕は、学校群という新しい入試選抜制度が発足した最初の年に入学した。この間世の中は変遷を遂げ、かの学校群制度はすでになく、複合入試選抜制度の時代になっている。でもあの三年間の僕らの人生の記録は永遠に不滅である。

今も目を閉じるとあの頃の友や先生たちの顔が一コマ一コマの場面とともに鮮やかによみがえってくる。そして二十一年ぶりに僕は再会した。当時の紅顔の美少年や可憐な乙女も見事に変身している。でも原形はかろうじてとめているので誰だかはすぐにわかった。そして変貌ぶりを互いに笑いあった。恩師で参加されたのは、学年主任だった生物の山中先生、数学の大野先生、政経の鹿野先生である。先生たちも変貌をお遂げになっていた。大野先生は見事な

白髪に、鹿野先生はかつての山中先生のごとくに。ただ山中先生は外見的にはあまり変わっていらっしやらなかった(どういう意味でしょう?)。

一次会は平安殿、二次会は一宮駅前の水滸伝、三次会は(どこだったかな?)と、すべてが懐かしく、昔話に花が咲き、旧交を温めあっていたら、時間がまたたく間に過ぎてしまったなあというのが実感であった。旧友たちよ!それぞれの持ち場で頑張ろう!そしてまたいつか会おうではないか。

東京同窓会

二十九回生 池田 成一郎

昨年の十二月六日(土)に毎年恒例の同窓会が行われました。私は今回二回目の出席で初めての幹事だったので多少緊張していましたが、先輩や同輩のアドバイスがうまくやり遂げられたように思います。ありがとうございます。

今回は、約三〇名もの出席者が



あり、社会人の方々半数以上を占めました。西高からは、体育科の塚本先生と国語科の市田先生に来ていただきました。

会はずも盛り上がり、西高の結束力の強さを感じました。年齢は違っても出席者の皆さんと楽しい一時を過ごしてみても、西高の卒業生だということを誇りに思いました。先生方とも懐かしい学生時代のことなど話し、二次会にも来ていただいたのでうれしく思っています。

私は幹事として、同窓会が成功したことをとてうれしく思います。成功したのも、学校の先生方や先輩方の助言があったからです。今年も私が東京の同窓会幹事をやらせていただきますのでよろしく願います。

尚、今回の同窓会では、学生のみなさんの出席が少なかったようです。今年も同窓会を予定していますので是非参加をお願いいたします。私の連絡の行き届きが悪かったことは反省しています。

ご退職の先生からのメッセージ

前校長 安藤 浩昭



同窓生の皆様におかれましては、時下ますますご清祥にて活躍のこととお慶び申し上げます。